

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

自治体名: 守口市

年度: 平成29年度

会計: 一般会計等

(単位: 千円)

| 科目名 | 金額 | 科目名 | 金額 |
|---------------|--------------|----------------|--------------|
| 【資産の部】 | | 【負債の部】 | |
| 固定資産 | 168,783,367 | 固定負債 | 63,884,066 |
| 有形固定資産 | 157,579,456 | 地方債 | 57,898,991 |
| 事業用資産 | 115,918,996 | 長期未払金 | - |
| 土地 | 78,440,492 | 退職手当引当金 | 5,842,010 |
| 建物 | 108,902,563 | 損失補償等引当金 | - |
| 建物減価償却累計額 | △ 72,377,398 | その他 | 143,066 |
| 工作物 | 7,034,117 | 流動負債 | 6,886,263 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 6,677,841 | 1年内償還予定地方債 | 5,903,695 |
| 建設仮勘定 | 597,064 | 未払金 | - |
| インフラ資産 | 41,442,565 | 未払費用 | - |
| 土地 | 33,088,237 | 前受金 | - |
| 建物 | 604,513 | 前受収益 | 7,654 |
| 建物減価償却累計額 | △ 94,106 | 賞与等引当金 | 421,337 |
| 工作物 | 21,748,601 | 預り金 | 539,188 |
| 工作物減価償却累計額 | △ 14,025,609 | その他 | 14,388 |
| 建設仮勘定 | 120,930 | 負債合計 | 70,770,330 |
| 物品 | 1,117,146 | 【純資産の部】 | |
| 物品減価償却累計額 | △ 899,252 | 固定資産等形成分 | 173,538,993 |
| 無形固定資産 | 2,870,804 | 余剰分(不足分) | △ 68,762,107 |
| ソフトウェア | 81,291 | | |
| その他 | 2,789,513 | | |
| 投資その他の資産 | 8,333,107 | | |
| 投資及び出資金 | 4,837,922 | | |
| 有価証券 | 25,300 | | |
| 出資金 | 970,422 | | |
| その他 | 3,842,200 | | |
| 投資損失引当金 | - | | |
| 長期延滞債権 | 1,036,102 | | |
| 長期貸付金 | 11,177 | | |
| 基金 | 2,554,616 | | |
| 減債基金 | - | | |
| その他 | 2,554,616 | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | △ 106,711 | | |
| 流動資産 | 6,763,848 | | |
| 現金預金 | 1,451,402 | | |
| 未収金 | 560,814 | | |
| 短期貸付金 | 1,652 | | |
| 基金 | 4,753,974 | | |
| 財政調整基金 | 2,074,506 | | |
| 減債基金 | 2,679,468 | | |
| 棚卸資産 | - | | |
| その他 | - | | |
| 徴収不能引当金 | △ 3,994 | 純資産合計 | 104,776,885 |
| 資産合計 | 175,547,215 | 負債及び純資産合計 | 175,547,215 |

行政コスト計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

自治体名: 守口市
会計: 一般会計等

年度: 平成29年度
(単位: 千円)

| 科目名 | 金額 |
|-------------|------------|
| 経常費用 | 53,305,897 |
| 業務費用 | 19,152,489 |
| 人件費 | 7,337,083 |
| 職員給与費 | 5,931,479 |
| 賞与等引当金繰入額 | 421,337 |
| 退職手当引当金繰入額 | 381,631 |
| その他 | 602,636 |
| 物件費等 | 10,708,506 |
| 物件費 | 6,517,887 |
| 維持補修費 | 1,342,379 |
| 減価償却費 | 2,839,922 |
| その他 | 8,318 |
| その他の業務費用 | 1,106,900 |
| 支払利息 | 557,611 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 95,077 |
| その他 | 454,212 |
| 移転費用 | 34,153,409 |
| 補助金等 | 15,678,292 |
| 社会保障給付 | 16,293,856 |
| 他会計への繰出金 | 2,180,406 |
| その他 | 855 |
| 経常収益 | 1,913,094 |
| 使用料及び手数料 | 786,669 |
| その他 | 1,126,425 |
| 純経常行政コスト | 51,392,804 |
| 臨時損失 | 475,090 |
| 災害復旧事業費 | - |
| 資産除売却損 | 474,864 |
| 投資損失引当金繰入額 | - |
| 損失補償等引当金繰入額 | - |
| その他 | 226 |
| 臨時利益 | 435,941 |
| 資産売却益 | 435,941 |
| その他 | - |
| 純行政コスト | 51,431,952 |

純資産変動計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

(単位:千円)

| 科目名 | 合計 | 固定資産等形成分 | 余剰分(不足分) |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 前年度末純資産残高 | 102,152,280 | 168,619,000 | △ 66,466,719 |
| 純行政コスト(△) | △ 51,431,952 | | △ 51,431,952 |
| 財源 | 53,928,086 | | 53,928,086 |
| 税金等 | 32,939,676 | | 32,939,676 |
| 国県等補助金 | 20,988,411 | | 20,988,411 |
| 本年度差額 | 2,496,134 | | 2,496,134 |
| 固定資産等の変動(内部変動) | | 4,791,522 | △ 4,791,522 |
| 有形固定資産等の増加 | | 18,837,093 | △ 18,837,093 |
| 有形固定資産等の減少 | | △ 14,815,747 | 14,815,747 |
| 貸付金・基金等の増加 | | 1,536,301 | △ 1,536,301 |
| 貸付金・基金等の減少 | | △ 766,126 | 766,126 |
| 資産評価差額 | 9,623 | 9,623 | |
| 無償所管換等 | 118,848 | 118,848 | |
| その他 | - | - | - |
| 本年度純資産変動額 | 2,624,605 | 4,919,993 | △ 2,295,388 |
| 本年度末純資産残高 | 104,776,885 | 173,538,993 | △ 68,762,107 |

資金収支計算書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

自治体名: 守口市
会計: 一般会計等

年度: 平成29年度
(単位: 千円)

| 科目名 | 金額 |
|--------------------|--------------------|
| 【業務活動収支】 | |
| 業務支出 | 50,593,997 |
| 業務費用支出 | 16,440,593 |
| 人件費支出 | 7,590,860 |
| 物件費等支出 | 7,874,130 |
| 支払利息支出 | 557,611 |
| その他の支出 | 417,993 |
| 移転費用支出 | 34,153,403 |
| 補助金等支出 | 15,678,292 |
| 社会保障給付支出 | 16,293,856 |
| 他会計への繰出支出 | 2,180,406 |
| その他の支出 | 850 |
| 業務収入 | 53,439,737 |
| 税金等収入 | 32,872,377 |
| 国県等補助金収入 | 18,775,173 |
| 使用料及び手数料収入 | 784,419 |
| その他の収入 | 1,007,768 |
| 臨時支出 | - |
| 災害復旧事業費支出 | - |
| その他の支出 | - |
| 臨時収入 | - |
| 業務活動収支 | 2,845,740 |
| 【投資活動収支】 | |
| 投資活動支出 | 9,546,253 |
| 公共施設等整備費支出 | 8,360,829 |
| 基金積立金支出 | 1,169,632 |
| 投資及び出資金支出 | 15,793 |
| 貸付金支出 | - |
| その他の支出 | - |
| 投資活動収入 | 4,035,752 |
| 国県等補助金収入 | 2,213,238 |
| 基金取崩収入 | 272,608 |
| 貸付金元金回収収入 | 10,643 |
| 資産売却収入 | 1,539,263 |
| その他の収入 | - |
| 投資活動収支 | △ 5,510,502 |
| 【財務活動収支】 | |
| 財務活動支出 | 5,624,519 |
| 地方債償還支出 | 5,617,954 |
| その他の支出 | 6,565 |
| 財務活動収入 | 8,580,900 |
| 地方債発行収入 | 8,580,900 |
| その他の収入 | - |
| 財務活動収支 | 2,956,381 |
| 本年度資金収支額 | 291,619 |
| 前年度末資金残高 | 620,595 |
| 本年度末資金残高 | 912,214 |
| 前年度末歳計外現金残高 | 552,540 |
| 本年度歳計外現金増減額 | △ 13,352 |
| 本年度末歳計外現金残高 | 539,188 |
| 本年度末現金預金残高 | 1,451,402 |

注記

注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産及び無形固定資産の評価基準及び評価方法

- ① 有形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
ア 昭和59年度以前に取得したもの……………再調達原価
ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
イ 昭和60年度以後に取得したもの
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価
ただし、取得原価が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。
② 無形固定資産……………取得原価
ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。
取得原価が判明しているもの……………取得原価
取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有価証券及び出資金の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的有価証券……………取得原価又は償却原価法（定額法）
② 満期保有目的以外の有価証券
市場価格のないもの……………取得原価
③ 出資金
市場価格のないもの……………出資金額

(3) 有形固定資産等の減価償却の方法

- ① 有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物 15年～50年
工作物 10年～60年
物品 3年～15年
② 無形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法
（ソフトウェアについては、当市における見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）
③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引……………自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

(4) 引当金の計上基準及び算定方法

- ① 徴収不能引当金
未収金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期延滞債権については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
長期貸付金については、過去5年間の平均不納欠損率により、徴収不能見込額を計上しています。
② 退職手当引当金
期末自己都合要支給額を計上しています。
③ 賞与等引当金
翌年度6月支給予定の期末手当及び勤労手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(5) リース取引の処理方法

- ① ファイナンス・リース取引
ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）
通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
イ ア以外のファイナンス・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。
② オペレーティング・リース取引
通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(6) 資金収支計算書における資金の範囲

- 現金（手許現金及び要求払預金）
なお、現金には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(7) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

- ① 物品及びソフトウェアの計上基準
物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。
ソフトウェアについても物品の取扱いに準じています。
② 資本的支出と修繕費の区分基準
資本的支出と修繕費の区分基準については、修理・改良等の費用が20万円未満のもの、又は修理・改良等がおおむね3年以内の期間を周期として行われることが既往の実績その他の

2 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

- ① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。
一般会計
② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。
③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。
④ 地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の状況は、次のとおりです。
実質赤字比率 ー (△2.72%)
連結実質赤字比率 ー (△17.45%)
実質公債費比率 7.2%
将来負担比率 66.4%
⑤ 繰越事業に係る将来の支出予定額 490,952千円

(2) 貸借対照表に係る事項

- ① 売却可能資産の範囲及び内訳は、次のとおりです。
ア 範囲
守口市重要資産処分等に関する連絡会において売却予定とされている公共資産
イ 内訳
事業用資産 903,934千円 (903,934千円)
土地 903,934千円 (903,934千円)
平成30年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。
売却可能価額は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律における評価方法によっています。